

原動力は北九州、 動かすのは世界

株式会社安川電機 代表取締役会長
津 田 純 嗣



安川電機が本社所在地の福岡県北九州市で掲げているスローガンです。当社は東京に本社がないという意味ではいわゆるローカル企業です。近年は東北や関東からの入社も増えてきましたが、在籍者としては私自身を含めて九州出身者が7割を占めていますし、国内の人員配置も国内5工場のうち4工場が福岡県で7割の従業員が働いています。ただし、仕向け先は海外が7割弱であり、1万4千人強の従業員の半数は海外ということで、いわゆるグローバル企業でもあります。

「何故、安川電機は北九州に本社を置いたままにしているのですか?」、「経営上の不都合はありませんか?」、「人材は確保できるのですか?」などの質問を頂きます。私の答えは、「グローバルに事業展開する上で北九州は好都合。まず、成長市場のアジアに近い。東京と上海は1,000kmの等距離で韓国釜山まではわずか200km、ソウルまでも500km。これは本当にメリットです。人材も問題なく確保できます。」

私自身は1990年から13年間を米国で勤務しました。米国市場の開拓です。おかげさまで事業はうまく進めることができました。当社は主に工場で作られる産業用のロボットやコントローラを主要製品としていますのでお客さまも製造業です。実際に活動して、不思議に思いませんでしたし、とりわけ不便を感じたわけではありませんが、経済の中心と言